

福岡市科学館特定事業

優先交渉権者決定基準

平成 27 年 7 月 7 日

福岡市

目 次

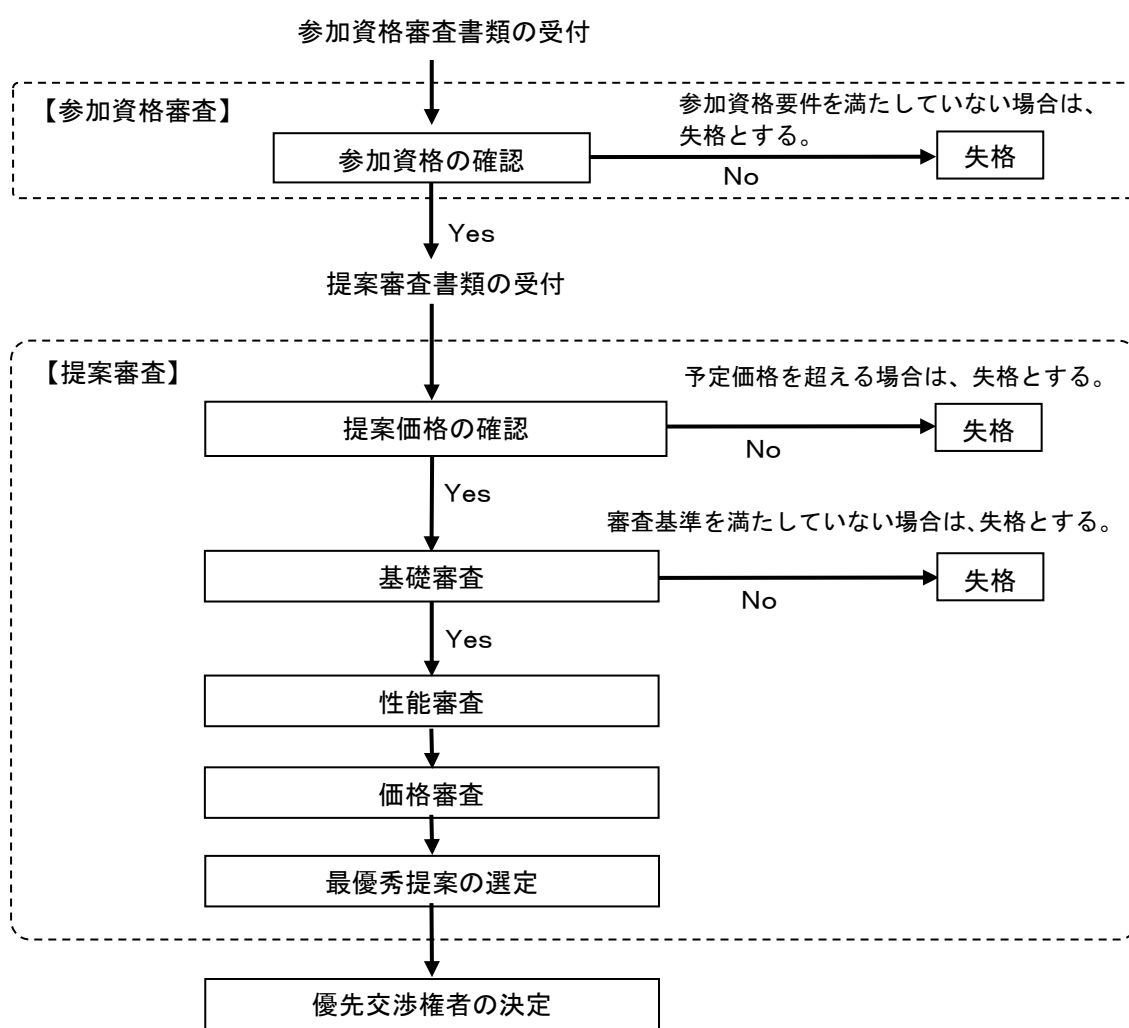
1	優先交渉権者の決定方法	1
2	参加資格審査	2
3	提案審査	2
(1)	提案価格の確認	2
(2)	基礎審査	2
(3)	性能審査	4
(4)	価格審査	9
(5)	最優秀提案の選定	9
4	優先交渉権者の決定	9

福岡市科学館特定事業（以下「本事業」という。）では、初期整備、開業準備、維持管理、運営の各業務を通じて、事業者の広範囲かつ高度な能力やノウハウと効率的かつ効果的な事業実施が求められることから、事業者の選定は、提案価格に加え、内装計画や展示計画、維持管理・運営における業務遂行能力、事業計画の妥当性等を総合的に評価するものとして、公募型プロポーザル方式により行うものとする。

この優先交渉権者決定基準は、本事業の優先交渉権者の決定方法及び審査における評価基準等を示すものである。

1 優先交渉権者の決定方法

優先交渉権者は、以下に示す審査を経て、福岡市（以下「市」という。）が決定する。



提案審査のうち性能審査及び価格審査については、福岡市科学館に係る事業者検討委員会（以下「事業者検討委員会」という。）において行い、最優秀提案を選定する。

事業者検討委員会の委員は以下に示すとおりである。

委員長	麻生 茂	九州大学大学院工学研究院 教授
副委員長	伊藤 明夫	北九州市立いのちのたび博物館 元館長
委員	青木 崇	株式会社日本政策投資銀行九州支店 企画調査課長
〃	高宮 由美子	特定非営利活動法人子ども文化コミュニティ 代表理事
〃	高山 峯夫	福岡大学工学部 教授
〃	堤 一夫	福岡市小学校理科学研究会 副会長
〃	松本 勉	福岡市こども未来局こども部 部長

2 参加資格審査

応募者の構成員及び協力企業が募集要項に示す参加資格要件を満たしていない場合は、失格とする。

なお、参加資格審査の結果は、提案審査における評価には反映させないものとする。

3 提案審査

(1) 提案価格の確認

提案価格が予定価格を超える場合は、失格とする。

(2) 基礎審査

提案審査書類について、「表1 基礎審査項目の審査基準」に示す審査基準を満たしていない審査項目がある場合は、失格とする。

表 1 基礎審査項目の審査基準

審 査 項 目		審 査 基 準	対応提案書等
事業計画	事業工程	・実現可能な事業工程となっているとともに、事業条件が満たされていること	「様式A-5」、 「様式C-4」
	提案価格	・算定方法に誤りがないこと	「様式A-5」、 「様式C：事業計画に関する提案書」
	特別目的会社	・特別目的会社の基本的な属性について、要求水準書等に定める条件を満たした設立等が明示されていること ・出資内容が明記され、出資条件が満たされていること	「様式A-5」、 「様式C：事業計画に関する提案書」
	市の支払条件	・初期整備に係る対価の算定方法に誤りがなく、支払条件が満たされていること ・維持管理・運営に係る対価の算定方法に誤りがなく、支払条件が満たされていること	「様式A-5」、 「様式C：事業計画に関する提案書」
	事業実施体制	・事業実施体制が明示されていること ・各業務を実施する構成員及び協力企業とその役割が明確に示されていること	「様式A-5」、 「様式C：事業計画に関する提案書」
	リスク管理の考え方	・リスクの分担者、分担方法、分担者のリスク管理能力が明示されていること	「様式A-5」、 「様式C：事業計画に関する提案書」
	資金調達計画	・資金調達方法、金額、条件などが明示されていること ・資金調達に係る利息の計算に誤り等がないこと	「様式A-5」、 「様式C：事業計画に関する提案書」
	長期収支計画	・長期収支計画全体の計算に誤り等がないこと ・各種発生費用の項目及び算定方法に誤りがなく、市場価格と極端に乖離していないこと ・事業期間を通じて特別目的会社に資金不足が生じないこと	「様式A-5」、 「様式C：事業計画に関する提案書」
初期整備計画	施設全体計画	・本施設の整備範囲内に配置されており、法令に適合した計画であること ・施設の規模等について、要求水準が満たされていること ・各室が要求水準を反映した基本的性能を備えたものであること	「様式A-5」、 「様式D：初期整備に関する提案書」、 「様式E：施設計画提案書（図面集）」
	展示計画	・展示構成や展示対象項目について、要求水準を満たしていること ・施設整備計画と適合した展示計画であること	「様式A-5」、 「様式D：初期整備に関する提案書」、 「様式E：施設計画提案書（図面集）」
	施工計画	・適切な施工計画が策定されていること	「様式A-5」、 「様式D：初期整備に関する提案書」
開業準備計画	開業準備計画	・各業務の水準について、要求水準が満たされていること	「様式A-5」、 「様式F：開業準備に関する提案書」
維持管理計画	維持管理計画	・各業務の水準について、要求水準が満たされていること	「様式A-5」、 「様式G：維持管理に関する提案書」
運営計画	運営計画	・各業務の水準について、要求水準が満たされていること	「様式A-5」、 「様式H：運営に関する提案書」

(3) 性能審査

提案審査書類の内容について、「表2 性能審査加点項目の評価基準」に示す加点項目ごとに加点基準に従い得点（加点）を付与し、その合計を性能評価点とする。性能評価点は、800点満点とする。

【加点基準】

評価	評価指標	加算割合
A	当該評価項目において非常に優れている	配点×1.0
B	当該評価項目において優れている	配点×0.75
C	当該評価項目において適切な提案がなされている	配点×0.5
D	当該評価項目において具体的かつ適切な提案が少ない	配点×0.25
E	当該評価項目において懸念される点がある	配点×0.0

表2 性能審査加点項目の評価基準

加点項目		配点	評価の主な視点	主な対応 提案書様式
事業計画				
事業計画の妥当性	資金調達計画の安定性	10	- 資金調達の考え方及び調達手段 - 構成員、金融機関等と特別目的会社との資金調達面における役割や相互関係 - 金融市場の変動リスクに対する対応策	様式C-5 様式C-11 様式C-12
	事業収支計画の安定性	30	- 需要予測に基づく利用料金収入等の想定 - 確実な展示更新の実施に考慮した事業収支計画 - 当初予定よりも上回る収益となった場合の収益の活用方策 - 不測の資金需要等を踏まえた事業収支の安定化のための方策 - 事業収支の向上に寄与するような運営期間中の外部資金の導入等の仕組み	様式C-6 様式C-7 様式C-11 様式C-14 様式C-15 様式C-16
リスク管理及び事業継続性の確保	事業継続の安定性	20	- 参画企業のモチベーション維持のための方策 - 各業務の受託者の破綻や不測の事態の発生時における対応策 - 社会経済環境の変化への対応策 - 事業継続のためのマネジメントやセルフモニタリングの体制、方法	様式C-8
	リスク管理の考え方		- 本事業の特性を踏まえたリスク管理の方針、対応策 - リスクの分担者、分担方法、分担者のリスク管理能力 - 利用料金収入が想定を下回った場合の対応方針 - 事業期間中の増加費用等に係るリスクへの対応策 - リスク顕在化時の対応方法	様式C-9

	地域社会、地域経済への貢献	50	・実施体制における地場企業（市内業者）の企業割合及び請負額割合 ・地場企業（市内業者）の活用方策、資材調達等への配慮 ・その他地元雇用の促進など地域経済への貢献に対する取組	様式C－10
小 計		110		—
初期整備				
施設全体計画	内装、意匠計画	10	・展示計画と調和し、子どもたちのわくわく感を創出する空間とするための工夫	様式D－4 様式E－4
	諸室配置、動線計画	10	・学校団体の利用への配慮 ・利用者や業務従事者の利便性への配慮 ・建物本体工事との整合 ・混雑時の適切な対応策（混雑しない仕組み）	様式D－5 様式E－2
	設備計画		・建物本体工事と整合 ・維持管理業務を効率的かつ経済的に行うための工夫 ・光熱水費の低減のための工夫 ・事業期間終了後までを見据えたLCCが低減のための工夫	様式D－6 様式E－5
	ユニバーサルデザインへの配慮	10	・施設全体（諸室配置、動線計画）への配慮 ・展示計画への配慮 ・ドームシアターへの配慮 ・その他の配慮	様式D－7 様式E－2
	サイン計画		・利用者の分かりやすさへの配慮 ・展示計画や運営コンセプトと調和への配慮	様式D－8
基本展示室・基本展示計画	基本展示フロア（5階部分）の空間計画	80	・基本展示フロア全体の動線計画及び展示配置計画 ・サイエンスショーステージの空間計画 ・オープンラボの空間計画 ・効率的な展示更新を可能とするための工夫	様式D－9 様式E－2
	基本展示計画		・基本展示計画の考え方 ・展示対象とする展示項目の提案 ・展示ゾーニングの考え方 ・展示手法の考え方 ・各展示項目における展示計画 ・展示内容の科学的裏付けを検証する方法 ・ロボスクエア事業の展示計画	様式D－10
その他諸室計画	ドームシアター（プラネタリウム）整備計画	30	・投影システム計画 ・音響・映像設備計画 ・室内計画（床形式、客席） ・操作性の配慮や業務運営に支障をきたさないための工夫	様式D－11 様式E－2
	サイエンスホール整備計画	30	・空間計画（平面及び断面形状、客席計画、音響性能等） ・舞台システム計画（舞台構造・規模、舞台機構、舞台照明、舞台音響設備等） ・関連諸室計画（バックステージ、ホワイエ等）	様式D－12 様式E－2 様式E－6

		その他の各室の整備計画	20	- 企画展示室計画 - 情報ライブラリー計画（移管する図書についての考え方・冊数） - 実験室計画 - 企業出展ブース計画 - エントランス計画 - 上記各諸室の空間計画、展開イメージ	様式D-13 様式E-2
その他		施設整備に関する体制及びモニタリング	50	- 建物本体工事との連携に配慮した実施体制 - セルフモニタリングの体制・方法 - 市による設計・施工に係る確認や、市との連絡協議を効果的に実施するための方策	様式D-14
		施工計画、建物本体工事との調整		- 建物本体工事との協議・調整にあたっての想定される課題及び解決策 - 工事期間中の安全確保や工期遵守のための方策 - 不測の事態が生じた場合においても工期を遵守するための方策 - 建物本体工事の工程への配慮	様式D-15
小 計			240		—
開業準備					
開業準備計画		科学館稼働に向けた開業準備計画	10	- 事前広報業務の実施内容（実施方法、実施時期等） - 開業準備に係る実施体制、スケジュール - 人材育成、ネットワーク形成事業の実施内容（実施方法、スケジュール等）	様式F-2
		少年科学文化会館機能の補完業務	20	- 補完業務の実施体制、スケジュール - 補完業務の実施内容	様式F-3
小 計			30		—
維持管理					
維持管理		維持管理業務体制	70	- 建物本体事業者との連携や市職員との連絡体制、即応性に配慮した実施体制 - 建物本体の維持管理業務との連携や調整等の円滑に業務を実施するための方策 - 災害等非常時における速やかな機能回復や復旧のための方策及び体制 - サービス水準を維持・改善するためのモニタリング方法	様式G-2
		維持管理業務内容		- 劣化等による危険・障害の未然防止のための方策 - 利用者や運営業務に支障のないような環境を保持するための工夫 - 特殊機材・展示物等保守管理業務における各対象物の管理・修繕・復旧の考え方 - その他の維持管理業務の実施計画（管理項目、作業内容、頻度等）	様式G-3
修繕計画 （展示更新を除く）			20	- 運営業務への影響に配慮した内装、建築設備、特殊機材等の更新・修繕の考え方 - 事業期間終了後も見据えた内装、建築設備、特殊機材等の更新・修繕の考え方 - 修繕計画（供用開始後 30 年間の内容と予定実施時期）	様式G-4
小 計			90		—
運営					

	運営全般	運営業務の全体方針	30	・運営業務の実施方針 ・業務計画・各種マニュアル策定の考え方 ・安全管理、非常時・災害発生時の対応	様式H-2
		開館日、開館時間、料金設定		・開館日の設定及び考え方 ・開館時間の設定及び考え方 ・各種料金の設定及び考え方	様式H-3
		運営体制、雇用条件設定の考え方		・運営体制及び職員配置計画（資格・経験等の条件を含む） ・職員の雇用形態等の雇用計画 ・職員の能力・資質向上のための研修・育成計画 ・職員が意欲的に業務に取り組めるような職場環境の整備に関する工夫	様式H-4
	展示事業	基本展示事業に関する運営計画	50	・展示案内や解説方法など来館者が理解を深めるための方策 ・より効果的な展示学習を行えるための工夫 ・「創造性（クリエイティブ）」における展示展開や、科学館連携ネットワーク等との連携方法 ・その他、基本展示の運営にあたっての配慮	様式H-5
		基本展示更新計画及び更新の考え方		・陳腐化を回避し集客力の高い施設として維持するための方策 ・展示更新計画を確実かつ効果的に実施する方策 ・更新工事中の利用者へのサービスの提供に関する配慮 ・展示更新計画（更新時期及び更新内容イメージ）	様式H-6
		企画展示事業に関する実施・運営方針		・企画展示実施計画の考え方（開催の頻度、内容イメージ） ・初年度の企画展示開催計画 ・次年度の企画展示開催の考え方 ・特別企画展におけるサイエンスホール等との連動企画等の考え方 ・その他、企画展示の運営にあたっての配慮	様式H-7
	ドームシアター事業	ドームシアター事業に関する運営計画	50	・ドームシアター事業の考え方 ・ドームを活用した投影・体験型プログラム事業に関する提案 ・その他、独自の取組に関する提案	様式H-8
		投影計画、自主番組制作方針・計画		・投影計画（投影回数や時間帯）の考え方 ・本科学館独自の番組制作の方法および制作体制 ・投影プログラム及び番組内容に関する提案	様式H-9
	その他教育普及事業	演示、体験学習の実施計画	50	・サイエンスショーの実施計画（実施内容・方策、頻度） ・ワークショップの実施計画（実施内容・方策、頻度） ・体験学習プログラム・イベントの実施計画（実施内容・方策、頻度） ・クラブ活動の実施計画（実施内容・方策、頻度） ・ものづくり体験の実施計画（実施内容・方策、頻度）	様式H-10
		学校連携、アウトリーチ活動等の実施計画		・学校向け学習プログラムの実施計画（実施内容・方策、頻度） ・出前事業等の実施計画（実施内容・方策、頻度） ・学校教員との連携（実施内容・方策、頻度） ・アウトリーチ活動の実施計画（実施内容・方策、頻度）	様式H-11

		教育普及事業におけるプログラム等制作方針・計画		・ 演示、体験学習、学校連携、アウトリーチ活動等の教育普及事業の実施体制 ・ プログラム等の制作方針、本科学館独自のプログラム	様式H-12
	交流事業	地域交流、ファンづくりに関する実施計画	40	・ 地域交流の実施計画（実施内容・方策、頻度） ・ 科学館ファンクラブの実施計画（実施内容・方策、構築システム内容） ・ リピート利用に向けた取組（実施内容・方策）	様式H-13
		広報・情報発信の実施計画		・ 広報・情報発信の取組（実施内容・方策、頻度） ・ 集客戦略の取組（実施内容・方策、頻度） ・ 集客戦略における企業等との連携	様式H-14
	人材育成、ネットワーク形成事業	子どもの参画やボランティア養成の実施計画	30	・ 科学館運営への子どもの参画に関する取組（実施内容・方策、頻度） ・ ボランティア養成に関する取組（実施内容・方策、頻度）	様式H-15
		科学館連携ネットワークの活用方針		・ 科学館連携ネットワークの活用に関する取組（想定する構築体制、取組内容、各主体との連携 条件等）	様式H-16
	サイエンスホール	サイエンスホールの運営計画	30	・ サイエンスホール運営業務の実施計画（実施内容・方策、頻度） ・ 展示室やドームシアターと連携した活用方策 ・ その他、独自の取組に関する提案	様式H-17
		諸室貸出管理業務の実施計画（企画展示室等を含む）		・ 各貸室別（基本展示室、サイエンスホール、ドームシアター）の貸出管理業務の実施計画（貸出手続方法、受付・利用料の徴収方法等） ・ 貸館利用誘致のための工夫	様式H-18
	その他、運営業務の実施方針		10	・ 施設利用者の利便性に配慮した利用者対応の工夫 ・ 利用者の安全性確保の工夫 ・ 情報ライブラリーの運営計画（図書の購入、配架替えの考え方、スペースの有効活用等） ・ 企業出展ブースの実施計画（出展者誘致のための方策、出展条件の考え方等）	様式H-19
	自主事業実施計画	必須事業	20	・ 必須の自主事業の実施の考え方 ・ 利用料金設定の考え方 ・ ミュージアムショップの運営計画（販売物の計画含む） ・ 自動販売機の設置管理の運営計画（販売物の計画含む） ・ 任意の自主事業に関する実施計画 ・ 特定事業と自主事業のリスク分離の方策 ・ その他、自主事業実施にあたっての留意事項等	様式H-20 様式C-18 （一部様式H-7、H-10、H-12、H-13に重複）
		任意事業			
		モニタリング及び事業改善に関する実施計画		20	・ セルフモニタリングの体制・方法 ・ 利用者の満足度の向上のための方策 ・ 市が設置する事業評価委員会の運営支援に関する提案 ・ 科学館運営連絡協議会の運用方法 ・ 事業終了時の円滑な引継のための工夫
小 計			330		

(4) 価格審査

以下の式により算定して得られた値を価格評価点とする。価格評価点の計算にあたっては、小数点第一位以下を四捨五入する。

$$\text{価格評価点} = 200 \text{ 点} \times \text{最低提案価格} / \text{提案価格}$$

(5) 最優秀提案の選定

性能評価点と価格評価点とを加算して得られた値を総合評価点とし、それが最大となった提案を最優秀提案として選定する。

ただし、総合評価点が最も高い提案が複数あるときは、性能評価点が最も高いものを最優秀提案とし、さらに同点の場合は、くじにより選定する。

$$\text{総合評価点} = \text{性能評価点 (800 点満点)} + \text{価格評価点 (200 点満点)}$$

4 優先交渉権者の決定

市は、事業者検討委員会の選定結果を踏まえ、優先交渉権者を決定する。

(参考) 性能審査 審査項目 (800 点満点)

■審査項目(案)

大項目	中項目	小項目	配点	
事業計画	事業計画の妥当性	資金調達計画の安定性	10	110
		事業収支計画の安定性	30	
	リスク管理及び事業継続性の確保	事業継続の安定性	20	
		リスク管理の考え方		
	地域社会、地域経済への貢献		50	
初期整備	施設全体計画	内装、意匠計画	10	240
		諸室配置及び動線計画	10	
		設備計画		
		ユニバーサルデザインへの配慮	10	
		サイン計画		
	基本展示室、基本展示計画	基本展示フロア（5階部分）の空間計画	80	
		基本展示計画		
	その他、諸室計画	ドームシアター（プラネタリウム）整備計画	30	
		サイエンスホール整備計画	30	
		その他の各室の整備計画	20	
	その他	施設整備に関する体制及びモニタリング	50	
		施工計画、建物本体工事との調整		
開業準備	開業準備計画	科学館稼働に向けた開業準備計画	10	30
		少年科学文化会館機能の補完業務	20	
維持管理	維持管理	維持管理業務体制	70	90
		維持管理業務内容		
	修繕計画（展示更新を除く）		20	
運営	運営全般	運営業務の全体方針	30	330
		開館日、開業時間、料金設定		
		運営体制、雇用条件の考え方		
	展示事業	基本展示事業に関する運営計画	50	
		基本展示更新計画及び更新の考え方		
		企画展事業に関する実施・運営方針		
	ドームシアター（プラネタリウム）事業	ドームシアター（プラネタリウム）事業に関する運営計画	50	
		投影計画、自主番組制作方針・計画		
	その他教育普及事業	演示、体験学習の実施計画	50	
		学校連携、アウトリーチ活動等の実施計画		
		教育普及事業におけるプログラム制作方針・計画		
	交流事業に関する運営方針	地域交流、ファンづくりに関する実施計画	40	
		広報・情報発信の実施計画		
	人材育成、ネットワーク形成事業に関する運営方針	子どもの参画やボランティア養成の実施計画	30	
		科学館連携ネットワークの活用方針		
	サイエンスホールの運営計画		30	
	諸室貸出管理業務の実施計画			
その他、運営業務の実施方針		10		
自主事業実施計画	必須事業	20		
	任意事業			
モニタリング及び事業改善に関する実施計画		20		
合計			800	